

平成25年度 第3回鶴岡市温海地域地区公民館運営審議会（会議概要）

- 日 時 平成26年3月11日 午後3時から
- 会 場 鶴岡市温海ふれあいセンター 2階会議室
- 次 第 (1) 平成25年度社会教育関係事業実績と総括について
(2) 平成26年度社会教育関係事業基本方針・重点事項及び事業計画について
(3) その他
- 出席委員
本間勝彦委員、榎本五郎治委員、伊藤喜一委員、遠田茂昌委員、五十嵐光男委員、佐藤美代子委員、斎藤徹委員、五十嵐幸男委員、本間英機委員、難波貢委員
- 欠席委員
遠見良一委員、瀬尾治委員、伊藤貢委員、五十嵐善幸委員
- 市側出席職員
石塚主幹、檜山主査、佐藤（智）冠専門員、栗田冠専門員、松浦主任、藤原主任、五十嵐社会教育指導員
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の人数 0人
- 資料及び欠席者の確認 社会教育課 主査 檜山厚史

市民憲章唱和

- 1 開 会 （主査）
- 2 あいさつ 本間英機委員長
石塚温海公民館長
- 3 報 告
(1) 地区公民館にかわる新組織体制について（説明：社会教育専門員）
- 4 協 議 座長：委員長
(1) 平成25年度社会教育関係事業実績と総括について（説明：主査、スポーツ振興専門員）

（質問、意見、協議）

■文化資源の保存について

【委員】

文化資源の保管については旧菅野代小中学校とのことだが、中はどのようになっているか。

【主査】

各小中学校ごとに整理し展示している。

- (2) 平成26年度社会教育関係事業基本方針・重点事項及び事業計画について

（説明：主査、スポーツ振興専門員）

（質問、意見、協議）

■ チャレンジデーについて

【委員】

今年度は、春日部市に負けてしまったが、啓発の仕方に問題や遅れはなかったか。実際、だ
いぶ実施日が近づいてから社会福祉協議会より我々老人クラブ連合会に連絡があった。もっ
と早い段階からの宣伝が必要だと思う。

■ 計画全体について

【委員】

多数の事業もしている中ではあるが、何か一つポイントとなる事業がほしい。家庭教育や
PTA、幼児教育、子への接し方や青年層対象でもいい。温海の課題に対するような内容につ
いて中央講師を招くなどしてはどうか。温海公民館でやったらいい啓発になるのではないか。

【温海公民館長】

地域の課題にポイントを絞ってとあったが、中央の講師を呼ぶには予算もかかるし鶴岡市全
体で取り組んでいる事業もあるので来てもらえればありがたい。

【委員】

鶴岡でやっても行くのが大変。全市事業なら開催場所を変えて地域の課題について事業を行
ってはどうか。鶴岡地域内だけでは、本当の地域づくりにはならないのではないか。

【温海公民館長】

参考にさせていただきます。

【委員】

中央公民館の審議会に出席したが、文化会館の建設中の会場使用について、中央公民館にも
入れない場合もあると思うので、藤島公民館や温海ふれあいセンターも有効利用できるので
ないかと話してきた。中央集中で近くの方は優遇されているが、温海などは大変。地域から
出ていくのは、そのほうが便利だからだと思う。地域でもよい話が聞ける環境づくりが大切
だと思う。

【委員】

地域の発展、利便性にも配慮いただきたい。

■ 青少年の教育事業について

【委員】

リーダー研修会やボランティア養成講座の内容について、参加したくなるような魅力的な講
座をお願いしたい。

【温海公民館長】

リーダー研修会は、5、6年生が対象のため、毎年参加者が違う。学校のリーダーとなる子
どもたちに学んでほしい内容で取り組んでいる。ボランティア養成講座は、福祉センターと
共催して取り組んでいる。車いすで生活されている障がいを持った方のお話を聞いて子ども
たちに喜んでもらえる事業の企画や運営を学んでいる。今後も基本的な内容のほかに工夫し
て実施していきたい。何かいい内容があったらご指導もいただければ。

【委員】

ボランティア精神は重要。子どもたちが進んでやりたくなるような内容の企画をしてもらい

たい。

■青年教育

【委員】

どこの地域でも、青年層の交流等の取り組みは重要ととらえている。青年向けの事業の継続はあるか。婚活の意味合いもあるかと思うし、ぜひ継続してほしい。

【主査】

継続予定です。地区自治会と共催で進める予定で、内容はこれまでの事業の評価をもとに今後検討し実施していきます。

【委員】

婚活だと対象に入りづらい40代～50代の住民の出会いの機会が少ない。本当は交流を求めているのではないか。そこに対応する事業も行ってはどうか。

【温海公民館長】

今年度3回行った青年講座の継続を計画している。

青年層が集まる機会が少なくなっていて、集まる場があったらなということで計画しているが、就労形態等も多様で非常に難しいと感じている。ただ、重要な課題であり今年度取り組んだ。婚活までつながるかもしれないが、まず、地域の若者が出会い交流するということを目的として実施している。

婚活に関しては、総務企画課の地域振興担当に担当者もいるのでそちらとも話して進めていく。

【委員】

とにかく、集まることを目的にというのはいいと思う。期待する。

【温海公民館長】

スポーツ的な内容が好評だった。参加する人だけでなく、応援や見に来る人もいるのでにぎやかに楽しく交流できるようだ。今年度は参加者と応援で80人集まった。内容も継続も含め検討し、年3回は実施していきたい。

■伝統文化の継承について

【委員】

民俗芸能の保存伝承について、例としてお話する。山五十川歌舞伎は以前は山戸中学校や小学校の文化祭で発表する形で指導してきた。中学校統合後2年ほどは温海中学校で、その後は山戸小学校児童に指導した。最初は6年生だけに教えていた。その後、5、6年生に指導し、少子化のため今年度より全学年に教えている。全員がかつらをつけ、化粧し、楽器もすべて子どもたちにやらせた。指導は大変だが、地域に伝統芸能が受け継がれているからできることだと思っている。小学校の文化祭には老人クラブも誘って大変盛況な発表の場となった。小学校の統合も決まり、今後どうすればいいか。ここで伝統文化の継承が途絶えてしまってはもったいない。温海地域の文化祭で発表し広く温海地域の方に伝えたいと思うので、考えてほしい。温海文化祭の盛り上がりにも寄与するのでないか。

【委員】

今後も進む少子化を考え、地域(集落)のバリアをなくして伝えていくことも必要でないか。

【委員】

山戸中学校が廃校になってからは小学校に指導してきた。子どもたちがいるうちは続けたいと思って一生懸命やっている。地域文化祭が始まった当初は温海町の指定になっている文化財は発表していた。指定になっていなくても発表の機会の復活を望む。

子どもたちへの指導については、中学校統合後、2年間歌舞伎の指導を行ったことがある。修学旅行の際の発表のためであり、希望者に指導した。その際も他の集落の子どもたちも希望してくれた。山五十川歌舞伎についてもっと多くの方に知ってもらいたいと思っているので、必ず山五十川でなければいけないとは考えていない。小学校でも、中学校でも、部活動形式でもやりたい子がいれば続けたい。

【文化祭担当者】

文化祭実行委員会の中でも伝統文化の継承ということを考え、発表の場を設けてはどうかという提案があった。平成24年度は五十川神楽より発表をいただいた。今年度は文化祭も30回記念ということで、子どもに伝統文化の継承を行っている地域（暮坪、小国、槇代）に依頼をしたところ、地域と保護者の考えの相違から発表とはならなかった。毎年1か所でも発表いただければと考えている。

【委員】

1か所なんて言わず、ぜひ積極的に発表してほしい。学校統合でも一つの大きなポイントとして、伝統文化をどう残していくかについて小中学校と連携して検討していくべきでないか。発表の場をつくって、地域の指導者の協力を得ながら、取り組んでいくようにしなければ、合併や統合のたびに伝統文化が失われてしまうのではないか。保護者は子どもの活動は見たいものだと思う。なくさないためにどうすればいいか考えなくてはならない。

【委員】

子どもたちへの指導は後継者育成という重要な目的で行っている。身をもって体験することは大人になってからの取り組みへの下地になると思うし、故郷を愛する心の土台づくりだと思ってこれからも真剣に指導していきたい。それぞれの活動を取り入れた文化祭を行ってほしい。

【委員】

子どもたちが発表できる体制づくりをお願いしたい。

【委員】

今後も伝統文化の継承を温海地域社会教育関係事業としてうまく取り組んでほしい。

■地域公民館のあり方の検討について

【委員】

年3回とあるが、温海地域の基本方針と重点事項の審議についてこの委員でということだが、「温海公民館と地域活動のあり方」についての検討という大変大きな内容が3回でできるか。

【温海公民館長】

年3回というのは地域公民館運営審議会の回数。その後に公民館のあり方を検討していただきたいと考えている。そのほかにもう2回ほど、別途検討の機会を設けさせていただきたい。地域にとっても初めてのことであり、どの程度検討の機会が必要かわからないため、場合によっては回数が増減する可能性もある。大変重い課題ではあるが協力いただきたい。その際、

予算の関係で報酬は支出できないが、旅費については対応したいと考えている。

■ 温海ふれあいセンターの管理運営について

【委員】

管理費が記載してあるが、およそかかる人件費（雇用人数、経費）について伺いたい

【温海公民館長】

記載してあるのは、施設の維持管理の分のみ。人件費は市の職員であり、計上していない。施設が大きいので、管理委託経費や空調、設備等で相当の経費がかかる。

■ チャレンジデーについて

【委員】

今年度は、早急に各所との協力体制の対応を行うべきだと思う。

【スポーツ専門員】

今年度は参加することになったのが昨年度末ぎりぎりだったため対応に遅れがあった。平成26年度は年明け早々実行委員会を開催し、各マスコミ等通じて周知を図っている。今年度は鶴岡の中央団体へは説明等を行っていたが、細部の団体等へは説明ができなかった。今後、各地域の事業所や団体に回り協力依頼を行いたい。対戦相手が決まったのは近日であり、チラシができ次第、各団体に回りますのでご協力をお願いいたします。

【委員】

カウントのポイントや対象など、注意点は。

【スポーツ専門員】

当日、鶴岡市で活動した人数をカウントする。県外からの観光客もスポーツをすればカウントできる。

【委員】

当日にグランドゴルフの大会があるので、カウントできると思う。

■ 福栄体育館について

【委員】

福栄体育館の老朽化が進んでいる。使用耐年数や現状を伺いたい。

【スポーツ専門員】

福栄体育館は建設後40年以上経過していると思われる。地域の方々の維持管理の努力もあり、床は大変きれいにされている。ただ、窓ガラスは積雪等で破損しており、足場を組む予算がなく、上段の修繕ができていない状態。何年もつかははっきり言えないが、体育館より大きい施設もないので、何とか直しながら活用したい。統合後の、福栄小学校の体育館の利活用も含め、福栄地区全体の体育施設の活用について検討して参りたい。

【委員】

安全面の配慮は必要だが、活用してほしい。

(3) その他

■ 鶴岡市公民館設置及び管理条例の一部改正について (主査)

【主査】

消費税の関係で使用する場所によって 100～800 円の増加となる。

3 か月の周知期間を経て 7 月 1 日より金額が変更する。市の広報 4 月号に掲載予定。

詳細は各施設に問い合わせさせていただきたい。当施設でいうと民間事業者、国県が有料。

サークル・芸術文化の団体、小中学校は免除の対象。有料となる団体へは周知を図っていく。

【委員】

スポーツ団体は。

【主査】

減免の対象となる。

【温海公民館長】

温海公民館についてのみ抜粋し掲載したが、消費税に伴う市の施設全般が料金増額となる。

皆さんが使用される場合は現額される場合がほとんどかと思いますが。ご理解いただきたい。

■ 「温海公民館の今後の方向性について」の概略と今後の予定 (温海公民館長)

本日ご出席の皆さんはもう 1 年任期がありますので 26 年度につきましても引き続き審議をお願いしたい。次年度の審議会の開催の仕方について、今後の予定ですが、資料 2 のとおり。温海公民館については、26 年度以降の方向性について提案するもの。26 年度に提案内容を協議させていただきたい。ふれあいセンターの施設管理と委託可能な事業については指定管理者制度にのっとり、新しい指定管理者に委託したいと考えている。現在どの組織にお願いするかということですが、現在それにふさわしい組織がないということで、適切に管理運営のできる新しい組織の立ち上げたいと考えている。今までしてきた事業についても可能なものはその団体をお願いしたい。今後具体的な提案を行いながら皆さんに協議させていただきたい。活動体系図(案)は第 2 回審議会で提案したものであるが、このような形で運営する組織を立ち上げて、スポーツ施設も含めるかどうかあわせて協議していただきたい。そのための会議を行いたいと考えております。回数の増もあるが、そのための報酬の予算がついていない現状。旅費の費用弁償のみ予算確保ができたという状況ではあるが、何とかお願いしたいと考えている。温海地域にとってよい社会教育事業、生涯学習事業ができるような体制を考えていきたい。

【委員】

地区の担当職員(市職員)を何人配置するかが重要と考える。

【温海公民館長】

27 年度以降、地区の担当職員(市職員)を何人配置するかは、検討中。

【委員】

各地区担当者は重要。

【委員】

温海地区だけが体育施設がない。26 年度から他の体育施設は指定管理となって、市の職員が引き上げている。指定管理には体育協会が入っている。温海には体育館もないため、組織を超えて今後の温海地域の体制をどうするか考えなければならない。

【委員】

地区公民館には地区担当職員を置くことになっている。4つの地区には置いている。今後4人配置できるかどうか重要。それがはっきりしないと。

【温海公民館長】

何をするにしても、調整役が必要だと思う。その調整役がどれほど必要かは協議の中でどんな事業が任せられるのか、市の役割、新しく立ち上げる団体どういう役割を持つかで人の配置は考えてかなくてはならないと認識している。人と人の調整は非常に重要な役割であるので十分に考慮していきたい。

【委員】

この審議会としては各地区の担当者は一人ずつは必要と強く求めたい。

【委員】

将来的にも、社会教育指導員はふれあいセンターに常駐になるのか。

【温海公民館長】

組織の中で人の配置は今後考えていかなければならない。なるかならないかについては現段階では分からない。

【委員】

ここで地区担当職員や社会教育指導員の必要性を示していくこととする。

【温海公民館長】

多くのご意見をいただいた。特に、温海地域は伝統芸能が大切に受け継がれていることが素晴らしいと感じていたので、皆さんからそのことについて多くの声を出していただいたことはありがたく、大変喜ばしいと思う。今後ともよろしく願いいたします。

■委員の任期、あて職の在任期間の引継ぎの協力について

<閉 会> 副委員長 榎本五郎治委員